

令和7年度 岐阜市立看護専門学校 第三者による学校運営評価

1 実施方法

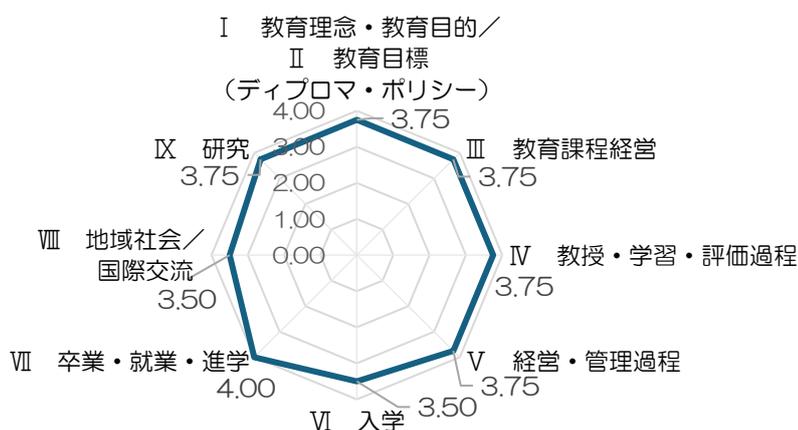
令和8年1月23日に岐阜市立看護専門学校の第三者評価委員に対し、看護教育自己評価指針にある9カテゴリー126の評価項目について、自己点検・自己評価した結果の概評をまとめた評価資料の内容および評価方法の説明を行いました。その後、各委員にカテゴリー毎に4件法での評価と、その理由ならびに提言を記入して頂きました。

2 第三者評価委員

岐阜市民病院 外科系診療局部長
 岐阜市民病院 内科系診療局部長
 岐阜市民病院 事務局長
 岐阜市民病院 看護部長

3 実施結果

カテゴリー	点数
I 教育理念・教育目的	3.75
II 教育目標 (ディプロマ・ポリシー)	
III 教育課程経営	3.75
IV 教授・学習・評価過程	3.75
V 経営・管理過程	3.75
VI 入学	3.50
VII 卒業・就業・進学	4.00
VIII 地域社会/国際交流	3.50
IX 研究	3.75



令和7年度 第三者による学校運営評価結果
n=4

<評価基準>
 「とてもそう思う」(4点)
 「どちらかというと思う」(3点)
 「どちらかといえばそう思わない」(2点)
 「全く思わない」(1点)

評価項目	評価理由ならびに提言
I. 教育理念・教育目的 II. 教育目標(ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の長期的ルーブリックの評価結果の分析など、学生が教育理念や教育目標を意識して教育を受けているかの成果分析が適切に行われている。 学生が将来的なビジョンをもち、それに対する指導ができています。良いと思います。 長期的ルーブリックを運用し、教育目標にディプロマポリシーを掲げることにより、初年度から卒業までの学習が1本の軸でつながり、教育の一貫性、累積性が担保され、かつ学習成果の可視化が可能になると思います。当校の理念が学修の現場でうまく体现され、機能しています。 教育理念、教育目標が明確で、学生自身が目指すゴールを描きながら学習を進める構造が、自ら学ぶ姿勢や思考を深める機会となっている。

評価項目	評価理由ならびに提言
Ⅲ. 教育課程経営	<ul style="list-style-type: none"> • カリキュラムの評価や教員の倫理観の自己チェックの他、実習指導者の看護観を聞く交流会の開催など、学習の質を維持、向上するための取り組みがなされている。 • ICT活用など、時代の変化にあわせて、指導方法を改良しておられます。 • カリキュラムの編成は妥当で教員の教育力向上にむけた取り組みや臨地実習での教育方針は素晴らしいと思います。 • 理論やガイドラインに基づき、根拠のある評価が実施されている。
Ⅳ. 教授・学習・ 評価過程	<ul style="list-style-type: none"> • 臨地実習における記録の簡素化や技術演習における iPad の活用など、学習や技術練習時間を確保するための方策を講じ、教育の質の維持に努めている。 • 教育すべき内容の増加を、限られた時間で良く指導できるよう工夫されています。 • 長期的ループリックによって、学生は、今どの段階にいるのか、卒業時の到達像とのギャップは何か、次に何を伸ばせばよいか自分が把握しやすくなり、素晴らしいと思います。 • 知識の修得、実践、振り返りの機会を効果的に組み立て学びにつなげられている。
Ⅴ. 経営・管理過程	<ul style="list-style-type: none"> • シミュレーション教育の強化に向けた電子黒板の導入や修学支援新制度拡充への対応など、必要な環境整備が行われている。 • 少子化や物価高など厳しくなりつつある環境で、きめ細かな学生対応を考えておられます。 • 年間授業料をすえおきにするために非常に努力をされていると思います。市から財政支援をうけられるように引き続き頑張ってください。成績低迷者への教員の支援も大変だと思いますが、そのおかげで国家試験の合格率にもつながっていると思っています。 • 適切に運営されている。
Ⅵ. 入学	<ul style="list-style-type: none"> • 一般入試の応募者が減少する中、学校の魅力をさらに強化するとともに入学生の確保に向けた対策を講じられたい。 • 全体的に学生数が減少するなか、志望者を増加させる施策をよく考えておられます。 • 大学への進学希望者増加や少子化などにより、新入生の確保が年々困難になってきています。現状の推薦枠の増加などの対策でよいと思います。 • 既存の方法にとらわれず、評価及び発展的な工夫をこらし学生確保に努め、成果につながっている。
Ⅶ. 卒業・就業・ 進学	<ul style="list-style-type: none"> • 国家試験合格率及び卒業生の県内就職率ともに高い水準を維持しており、教育理念・目標に合致した地域に貢献できる人材を輩出している。卒業生の活動状況が的確に把握されており、在校生の就職支援へのフィードバックも適切に行われている。 • 卒後についてもよく指導をされています。 • 卒業生の進路、就職後の活動状況については十分把握されていると思います。 • 適切に実施されている。また、3年連続国家試験100%合格であることは評価できる成果である。
Ⅷ. 地域社会/ 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> • 引続き「地域に根差した学校づくり」を実現するための教育環境の整備に努められるとともに、帰国学生や留学生の受け入れ態勢の整備にも努められたい。 • 地域交流は良くされています。 • 地域社会との連携や地域への情報発信は例年通り今後も継続していただきたいです。留学生の受け入れ、海外への留学については希望者の有無、財源確保の問題もあり、困難であることは承知しています。 • 地域に根づく、又、交流できる場の整えが確立し、実践につながっている。国際交流のための体制は、可能な範囲で努力されている。
Ⅸ. 研究	<ul style="list-style-type: none"> • 引続き教員の能力向上に向けた環境整備に努められるとともに DX の推進など働き方改革を進めることで、研究活動の時間を確保できるよう努められたい。 • 多忙のなか、教員の質向上につとめておられます。 • 忙しい業務の中、看護研究に取り組み、年報に投稿されました。お疲れ様です。 • 研究活動への取り組み、成果をまとめあげられた点は、教育活動の質向上につながるものである。適切な環境は整っている。

上記の通り、9 カテゴリー全てにおいて、平均点が3点（どちらかといえばそう思う）以上の評価結果でした。

これは、長期的ループリックを軸とした教育を展開し、毎年自己点検・自己評価を行う中から抽出したカテゴリー毎の課題1つ1つの改善に取り組んでいる点が、高評価の維持につながっていると考えます。

4 今後の課題

第三者評価の全カテゴリーの評価理由ならびに提言に基づき検討した今後の課題は以下の通りです。

- ① 長期的ループリックの運用評価から課題を明確にし、学生個々のゴール実現に向けた支援を継続していきます。
- ② 次期カリキュラム改正を視野に入れた学修状況や課題を意識した教育課程経営を継続していきます。
- ③ 計画的な予算計上と限りある資源の有効活用による学生支援を継続していきます。
- ④ 入学生確保のための取り組み（学校の魅力のアピール）を行っていきます。
- ⑤ 進路選択（就業・進学）および看護師国家試験合格に向けての支援を継続していきます。
- ⑥ 地域に根差した学校づくりへの取り組みを継続していきます。
- ⑦ 帰国学生や留学生の受け入れ体制の整備に努めていきます。
- ⑧ 業務の効率化（DX推進）による看護研究時間の確保と、その成果を活かした教育の質向上を図っていきます。